

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。

ミニッツ MB-010VE シリーズ用

# Mini-Z Buggy VE setup Manager マニュアル

**KYOSHO**<sup>®</sup>  
THE FINEST RACED CONTROL MODELS  
取扱説明書

本製品はパソコンとミニッツバギーMB-010VEを接続し、専用ソフトウェアを使用することによってスロットルやブレーキのセッティング変更を可能にします。

※工場出荷時に車体の基本設定は標準的な値に設定されています。

## ●必要システム構成

- Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1が動作し、USBポート（1.1もしくは2.0）が1個以上空きのあるコンピューター
- Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1（エミュレーターなどによる動作については保証外となります）
- ソフトウェアダウンロードのためにインターネット接続

※Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1は、Microsoftの米国および各国における登録商標です。

※本製品をご使用になった結果については、京商株式会社はいかなる場合も、その責を負いません。ご使用にあたっては、お客様の責任でご使用ください。

## ●使用前の注意

- 本製品を使用した結果については、京商株式会社はいかなる場合も、その責を負いません。ご使用にあたっては、お客様の責任でご使用ください。
- 本製品についての不具合その他のご意見についてはこれを承りますが、その不具合の修正、機能追加については、これを保証するわけではございませんのでご了承ください。
- 本取扱説明書内の団体名、会社名、商品名については、それぞれの会社または団体の商標または登録商標です。
- このソフトウェアは、Mini-Zシリーズと合わせてご使用になる場合にフリーソフトウェアとしてご使用頂けます。ただし、著作権法上、もしくはその他の法律の権利はScorpion Power System社にありますので、無断での転載、公開または、リバースエンジニアリングまたはこれに類する行為につきましては、禁止させていただきますのでご了承ください。
- 画面は性能向上のため変更になる場合があります。

## ●必要なもの

- MB-010VE シャシー



- VEセットアップケーブル (No.82081)



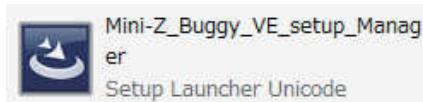
# ●使用前の準備

## ◆専用ソフトウェアとUSBドライバーをダウンロードする

### ●専用ソフトウェアについてのご注意

- ・ソフトウェアは性能向上のため、随時更新されます。常に最新のソフトウェアをダウンロードして使用してください。

## ◇専用ソフトウェアとUSBドライバー



下記のホームページアドレスより専用ソフトウェアとUSBドライバーをお手持ちのパソコンの任意のフォルダへダウンロードしてください。上記2つのソフトウェアが同一フォルダ内にあることをご確認ください。


- ・Mini-Z バギー サポートページ  
<http://www.kyosho.com/mini-z-buggy-support/>

(上記ホームページアドレスは変更になる場合があります)

## ◆USB ドライバーのインストール

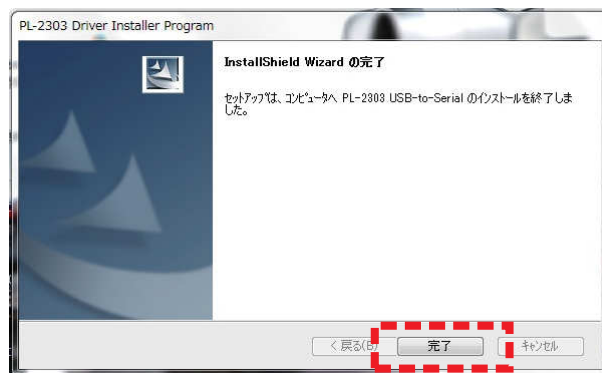
(VE セットアップケーブルをお手持ちのパソコンで使用可能にする作業)

- ・既に VE セットアップケーブルをお持ちで、接続と USB ドライバーのインストール作業が終了している場合は 4 ページ「◆専用ソフトウェアをインストールする」へ進んでください。
- ・VE セットアップケーブルをパソコンと接続する時はパソコンの USB ポートに直接接続してください。USB ハブや延長 USB コードを経由して接続すると正常に動作しない場合があります。
- ・接続する VE セットアップケーブルおよび USB ポートが複数存在する場合は、同じ組み合わせでご利用ください。組み合わせが変わると再度 USB ドライバーのインストールが必要な場合があります。
- ・説明内のパソコンの画面表示は標準的なものですが、お手持ちのパソコンの使用状態（カスタマイズされているなど）によって異なる場合があります。

1. ダウンロードしたUSBドライバーの（アイコン  ）をダブルクリックする。  
・「インストール」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



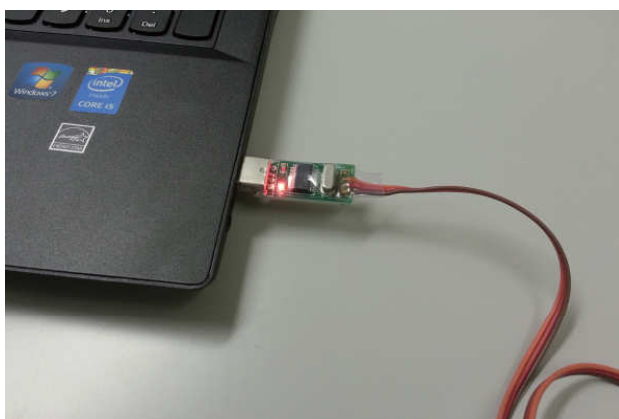
2. 画面の支持に従ってインストールを完了させます。以下の画面が出ればインストールは完了です。
- ・インストールが終了するまで数分かかる場合があります。終了すると下記の画面が表示されます。



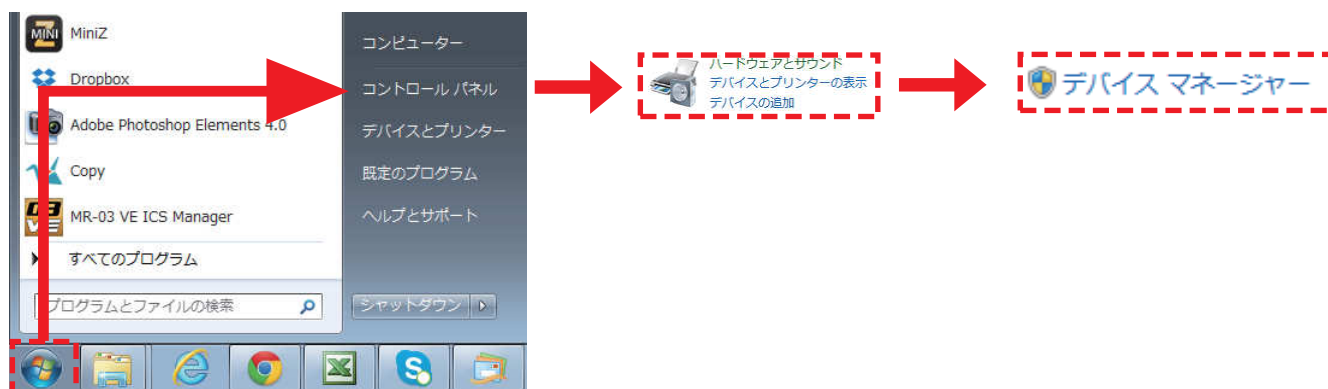
## ◆COM ポートの設定を確認する

(VE セットアップケーブルが正常に接続したかを確認する作業)

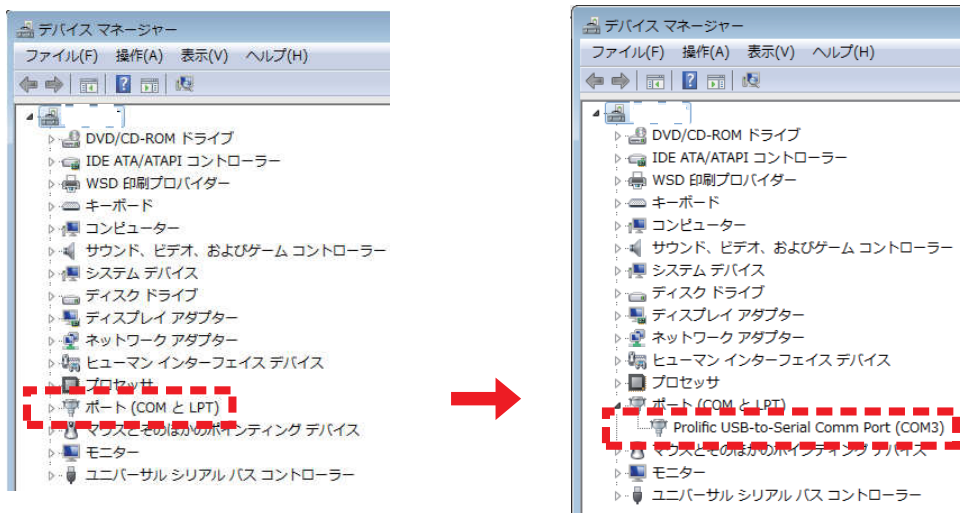
1. VEセットアップケーブルをパソコンに接続する。



2. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 - 「デバイスマネージャ」をクリックする。「デバイスマネージャ」をクリックするとデバイスマネージャのウィンドウが表示されます。
- ・ご使用になっているパソコンの設定によって表示が異なることがあります。



3. 「ポート」をダブルクリックし、「Prolific USB-to-Serial Comm Port (COM"X")」と表示されているのを確認する。



- ・説明内の画面では「X」部分が「3」になっていますが、パソコンや差し込む USB ポートによって異なりますので、必ずお手持ちのパソコンで確認してください。
- ・正しく VE セットアップケーブルがインストールされていない場合は表示されません。表示されない場合は、再度 "VE セットアップケーブルの接続とドライバーのインストール" を行ってください。
- 再度 "VE セットアップケーブルの接続とドライバーのインストール" を行っても USB ドライバーが認識されない場合は以下の手順でドライバーソフトウェアの選択を行ってください。

1. ドライバーのインストールが完了したらデバイスマネージャーを開きます。  
 ポート (COM & LPT) を開くとエラーコードが表示されたままの Prolific USB-to-Serial Comm Port (COM" X") があります。  
 ※「X」部分はパソコンや差し込む USB ポートによって異なりますので、必ずお手持ちのパソコンで確認してください。

2. 右クリックでドライバーの更新を行います。

3. 次にコンピューターを参照してドライバーをインストール (手動) に進みます (Windows の自動更新は行いません)。次に、「コンピューター上のデバイスドライバーの一覧から選択をします (L)」をクリックしてください。



4. 互換性のあるハードウェアを表示 (c) の一覧の中の「Prolific USB-to-Serial Comm Port Version 3.4.25.218(2011/10/7)」を選択し次を選択し進みます。

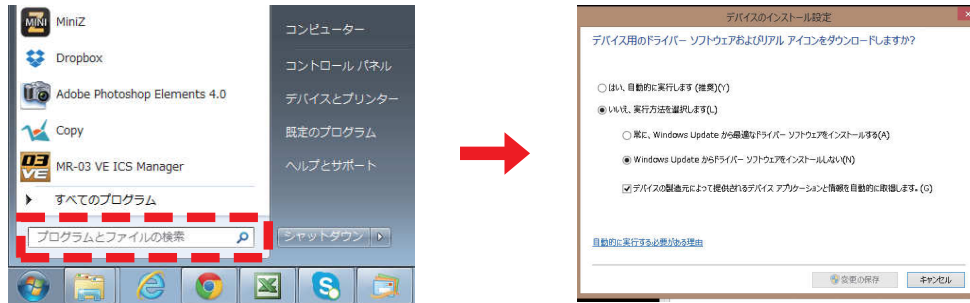


5. ドライバーの更新（BackRoll）が始まり、ドライバーソフトウェアが正常に更新されれば、この画面でドライバーの更新は終了です。


6. デバイスマネージャー上でもエラー表示が消え、正常に稼働しているのが確認できると思います。

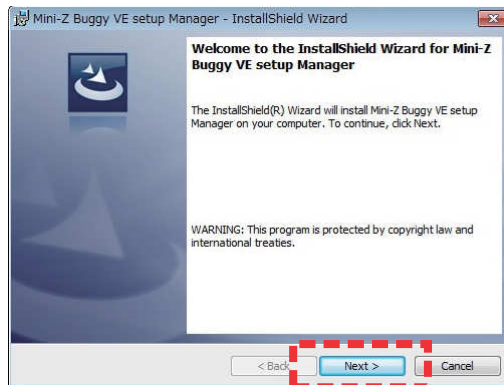
7. ドライバーの自動更新を行わない様に Windows の設定を以下のようにしてください。

プログラムとファイルの検索→「デバイスのインストール設定」を入力し検索→「いいえ、実行方法を選択します(L)」を選択→「Windows Update からのドライバーソフトウェアをインストールしない」を選択→「変更の保存」を行い設定終了です。



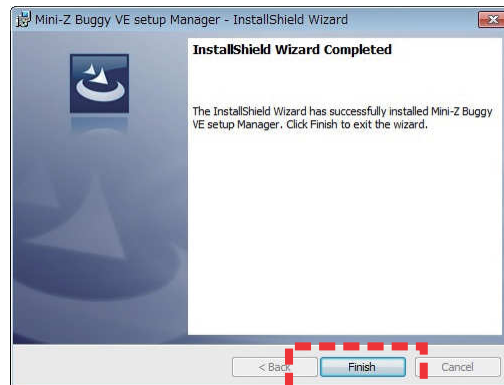
## ◆専用ソフトウェアをインストールする

1. ダウンロードしたソフトウェアの（アイコン  ）をダブルクリックする。  
・「インストール」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



2. 画面の支持に従ってインストールを完了させます。以下の画面が出ればインストールは完了です。

・インストールが終了するまで数分かかる場合があります。終了すると下記の画面が表示されます。

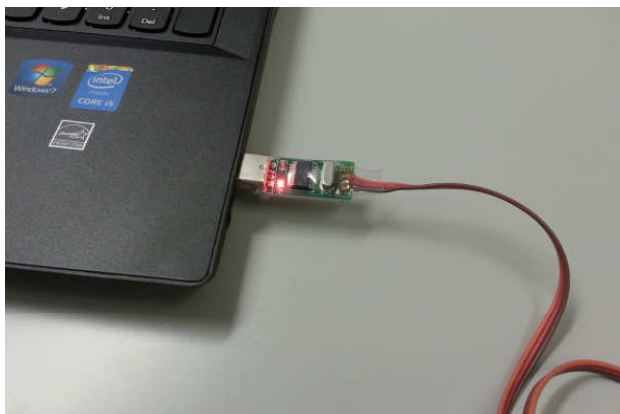


3. 下記のアイコンが保存したフォルダに表示されていることを確認してください。



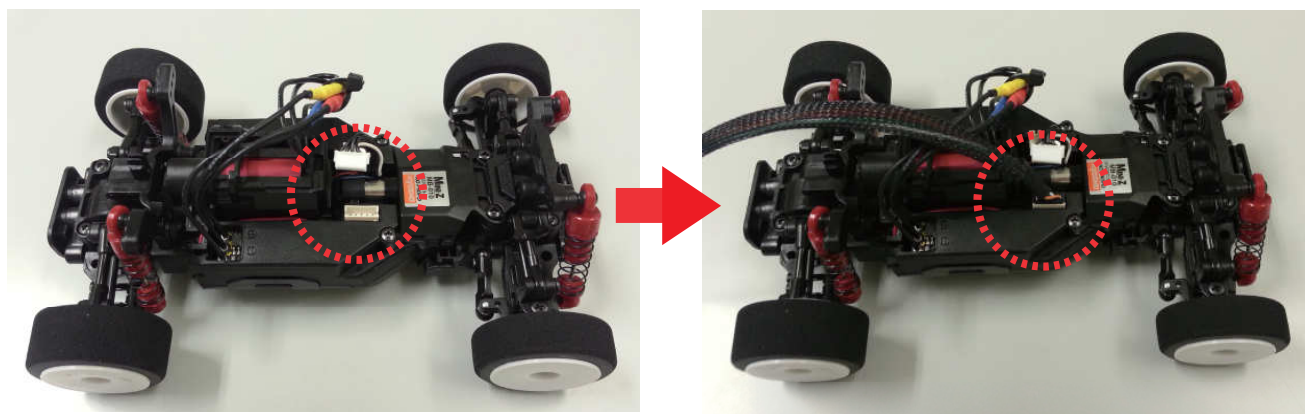
# ●パソコンと車体の接続とソフトウェアの使用方法

1. VEセットアップケーブルをパソコンに接続する。

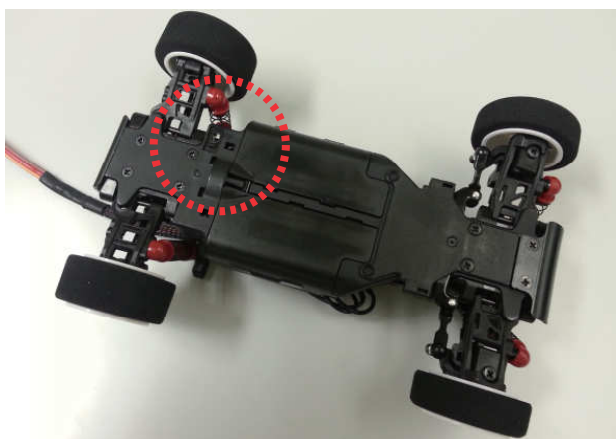


2. ESC基板に接続されているコネクタを外し、VEセットアップケーブルを差し込みます。

- 逆向きに接続することはできないようになっています。取り付けが固い場合は一度取りはずして、接続の向きを確認し、再度接続してください。



3. 車体の電源をONにする。



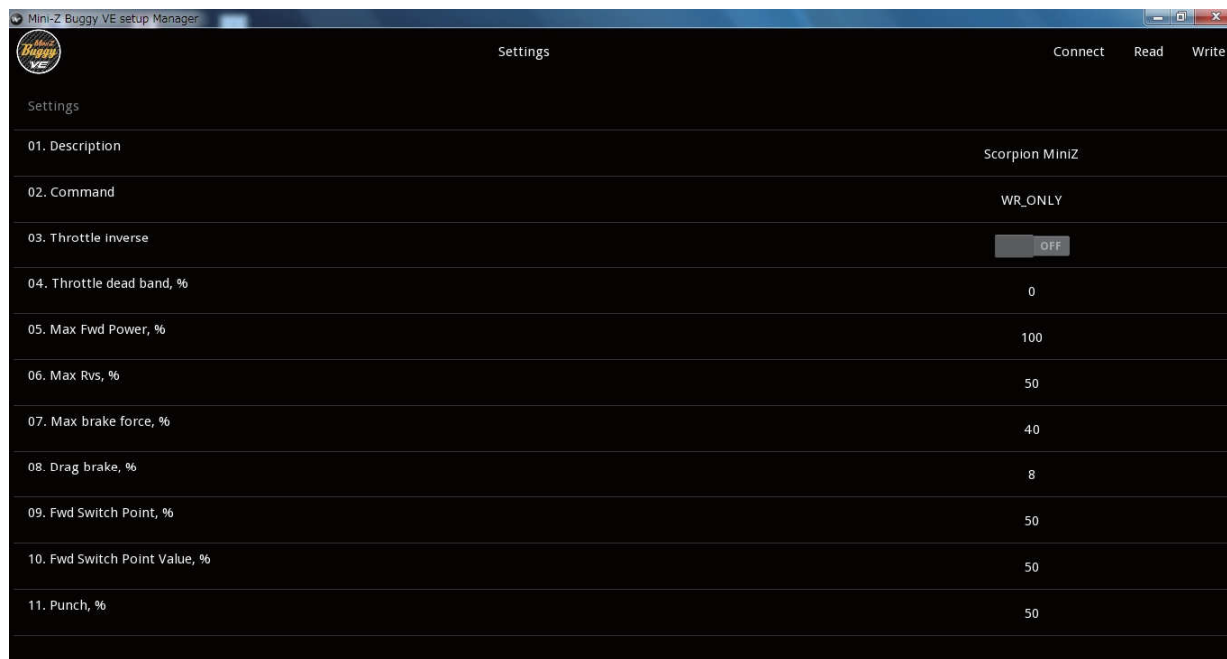
4. インストールしたソフトウェアを起動する。  
Mini-Z Buggy setup Manager をダブルクリックする。



# ●ソフトウェア画面の説明

各ソフトウェアを起動すると以下の画面が表示されます。

- 下記の画面表示は工場出荷状態の設定です。



## ◆ボタンの名称と働き

**Write**

### 書き込み

現在表示している設定を接続した車体へ書き込みます。それまでの設定を上書きしますので、設定する前に車体より設定を読み込んで保存しておくことをお奨めします。

**Read**

### 読み出し

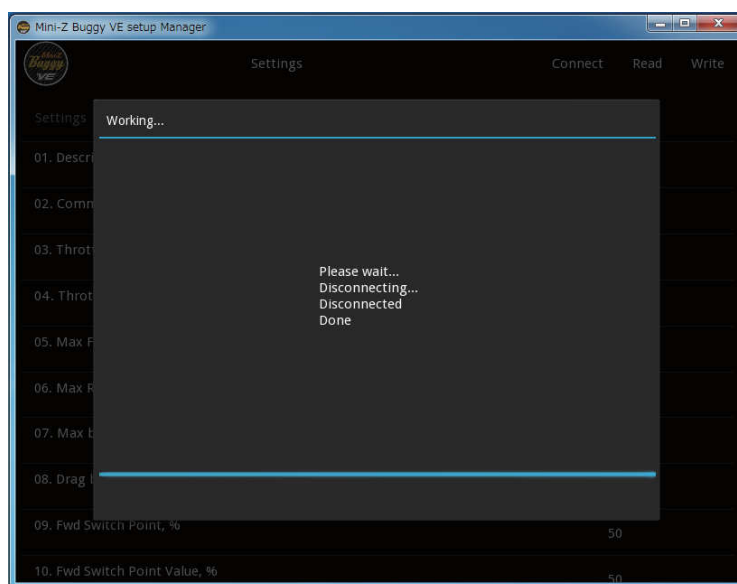
接続した車体から設定値をパソコンへ読み込みます。読み込みを行うと、画面上に表示しているデータを上書きしますので十分注意して下さい。

**Connect**

### 接続 / 接続解除

車体とソフトウェアを接続したり、接続解除を行います。

※車体からVEセットアップケーブルを外す際は必ず「Connect」ボタンを再度押し、画面上に「Disconnected」(接続解除)と表示されるのを確認してから車体からケーブルを外してください。



## ◆各パラメーターの名称と働き

### • Description (車体名)

車体名を登録できます。

## • Command (設定)

- WR\_ONLY : 車体とソフトウェアの接続を解除した後、車体のスイッチを入れ直すとセッティング変更が反映されます。
- WR\_UPD : 車体とソフトウェアの接続を解除した後、車体のスイッチを入れ直さなくてもセッティングの変更が反映されます。
- CLR\_TO\_DEF : 各項目の設定を工場出荷状態に戻します。

## • Throttle inverse (スロットルの動作を逆にする)

前進・後進の動作を逆にします。

## • Throttle dead band (スロットルデッドバンド)

スロットルトリガー操作に対して反応しない幅の設定です。設定値が小さいほどニュートラル付近のスロットルの反応が敏感になります。

## • Max Fwd Power (最大前進出力)

搭載しているブラシレスモーターの出力設定が行えます。設定値が大きいほどモーターの出力が大きくなり、最高速が高くなります。

## • Max Rvs (最大後進力)

後進時の出力調整が行えます。設定値が大きいほど後進時のモーターの出力が大きくなり、最高速が高くなります。

## • Max brake force (最大ブレーキ力)

ブレーキ作動時の効き具合を調整できます。設定値が大きいほど効きが強くなり制動距離が短くなります。

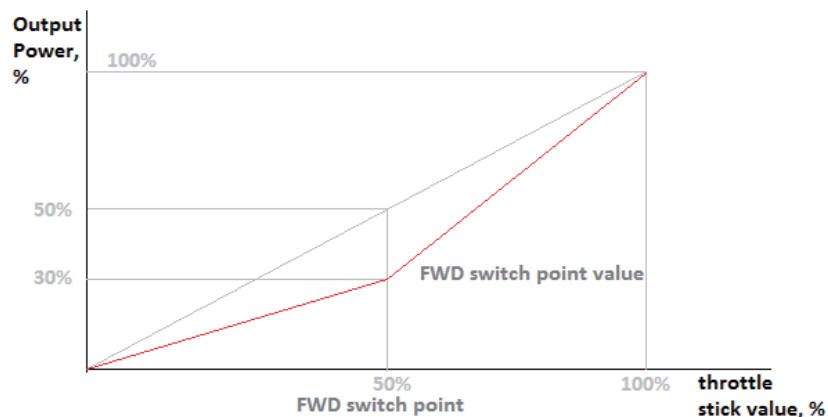
## • Drag brake (ドラッグブレーキ)

スロットルトリガーを放している時に効くブレーキを調整します。設定値が大きいほどスロットルトリガーを放してから車が停止するまでの時間が短くなります。コーナー進入時やジャンプ時の車体の挙動を調整する際に使用するとよいでしょう。

## • Fwd Switch Point (スロットルトリガー開度ポイント設定)

### • Fwd Switch Point Value (出力値ポイント設定)

スロットルトリガーの引き量とモーターの出力のバランスを変更できる機能です。エクスポネンシャルと同じ機能であり、お好みの出力特性に設定することが出来ます。



## • Punch (パンチ)

加速性能の調整をします。設定値が大きいと加速性能は高くなりますが、路面とタイヤのグリップ状態によってはホイールスピンを起こしやすくなりますので状況に合わせて調整すると良いでしょう。

メーカー指定の純正部品を使用して安全に楽しみましょう。

※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
© Copyright 2015 KYOSHO CORPORATION / 禁無断転載複製

京商株式会社 〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜（祝祭日を除く）13：00～19：00